

「我が国の港湾政策の現状と展望」

日時：5月11日(火) 16:50-18:35 (5限)

**国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、
国土交通省港湾局長 高田昌行氏からお話を伺います。

四方を海に囲まれ、臨海部に人口・資源等が集積する我が国において、
港湾は99.6%もの貿易量を担っており、国民生活の質の向上や産業
活動の発展に大きな役割を果たしています。

本講義では、企業の立地環境を向上させ、我が国経済の国際競争力
の強化を図る国際コンテナ戦略港湾政策や、港湾や一般海域における
洋上風力発電の導入促進、我が国の質の高い港湾インフラの海外展開、
港湾におけるカーボンニュートラルに向けたLNG・水素等の活用など、現
在、国土交通省が取り組んでいる主要な港湾政策を紹介するとともに、
将来の展望について考察します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の
一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け
付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。

※ オンライン授業URLはITC-LMS又はUTASで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を
仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



国土交通省
港湾局長
高田昌行氏